

# 風雪の大峰・弥山山行

2018年2月11日～12日

<参加メンバー> 4人(男ばかり)

<天候> 1日目 雪、2日目 風雪

## < コースタイム >

2/1 1

川西池田駅 7:00 発 (マイカー利用) — 9:20 みたらい溪谷入口 9:43 出発 — 10:15 熊渡 — 11:18 金引尾根・弥山川分岐 — 11:22 金引橋 — 13:51 カナビキ尾根分岐 — 14:51 ナベの耳 — 15:35 高崎横手 — 16:09 狼平避難小屋 (泊)

2/1 2

狼平避難小屋 6:44 発 — 8:00 大黒岩 — 9:23 弥山頂上 — 9:39 弥山小屋 9:56 発 — 弥山頂上 — 10:37 大黒岩 — 11:22 狼平避難小屋 11:52 発 — 12:24 高崎横手 — 13:03 ナベの耳 — 13:49 カナビキ尾根分岐 — 15:14 金引橋 — 15:19 金引尾根・弥山川分岐 — 15:58 熊渡 — 16:19 みたらい溪谷入口

## < 山行の概要 >

厳冬期の大峰の雪の自然を楽しもうと計画した。北摂山の会としては何度も行っている弥山、八経ヶ岳であるが、今回は天川川合からの陣ノ峯ルートではなく、みたらい溪谷入り口近くの熊渡からの登山道を利用した。このルートは弥山方面へは距離を短縮できるので、雪山でも日帰りで利用する人が多いようだ。しかし、テント泊の冬の重装備で行くとなると、かなりの急斜面が続いており、距離は稼げても時間は稼げなかった。結局、狼平に着いたのは16時頃となった。

山行中天候は冬型となっており、気温は朝方-16度と低く、風雪強く厳しい条件の中の登山となった。これも、厳冬期の雪山なので当たり前であるが、初めての弥山の冬を経験したメンバーには良い経験であったろう。

今回はタイムオーバーで八経ヶ岳へは行けなかったが、充実した山行となった。



1. みたらい溪谷入り口近くに到着



2. いよいよ出発 道路はアイスバーン



3. 氷瀑状?のツララの横を歩く



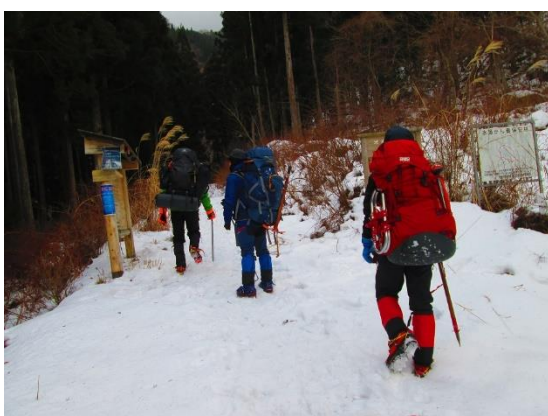
4. 熊渡に到着 ここには5~6台の車が合った



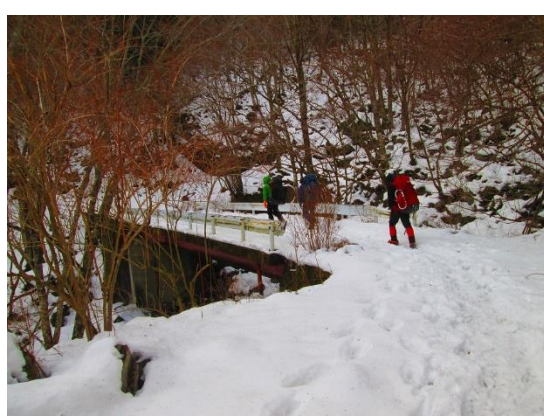
5. 橋を渡り、林道を進む



6. しばらくはこんな林道を進む



7. 弥山川(双門滝コース)との分岐を通過



8. 金引橋を通過



9. 林道終点から登山道へ 最初は植林地の中を進む



10. 稜線に上がる。ここには幹肌に特徴のあるヒメシャラの木が沢山あった



11. ブナ林の稜線を進む



12. 川合からのルートとの出合(金引尾根分岐)に到着



13. きれいな雪の樹林の中を進む



14. 明星岳へのルートとの分岐、高崎横手に到着 狼平はもうすぐ



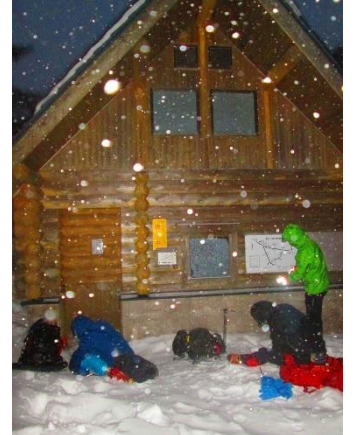
15. 弥山川の吊り橋 ここを渡れば狼平



16. 狼平避難小屋に到着



17. テント泊の予定だったが、小屋の2階に誰もいなかったの、中にテントを張った。暖かくとても快適に過ごすことができた



18. 翌早朝、雪降る中で出発準備



19. 歩き出しはこんな雪のシラビソ林の中を進む



20. 降りしきる雪の中、鹿除けネットをくぐって進む



21. 弥山頂上はもうすぐ



22. 弥山頂上に到着 鳥居は3分の2は雪で埋まっていた 中央に鳥居がある



23. 頂上で4人全員集合 (頂上では奈良労山パーティーと一緒に、写真を撮ってもらった。)



24. 弥山小屋近くのシラビソのモンスター



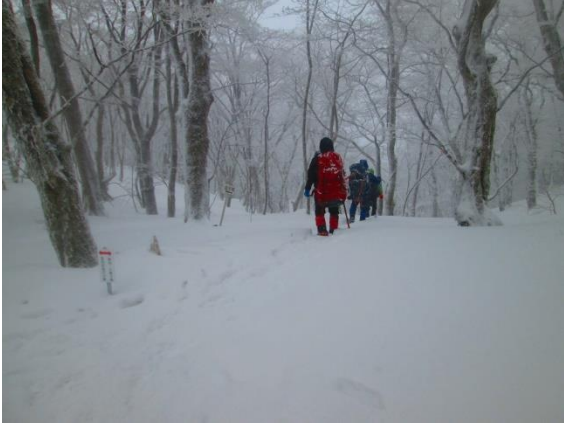
25. 弥山小屋の冬季小屋は扉が開かず、小屋の前で暫し休憩した



26. これは弥山頂上の天川奥宮の錫杖です



27. 下山途中も雪が降りしきる中、ちょっと休憩



28. 狼平避難小屋を経て川合へのコースとの分岐(金引尾根分岐)を熊渡に向けて下山



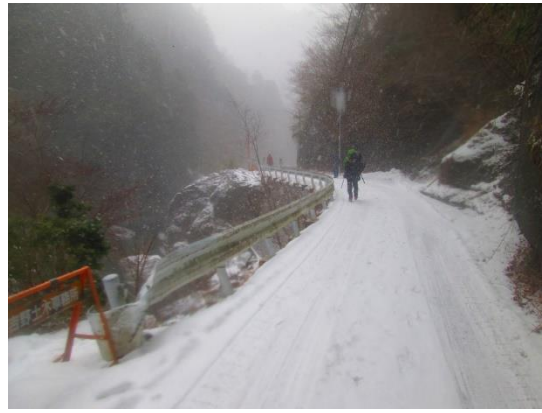
29. 雪の降る中、金引橋まで戻ってきた



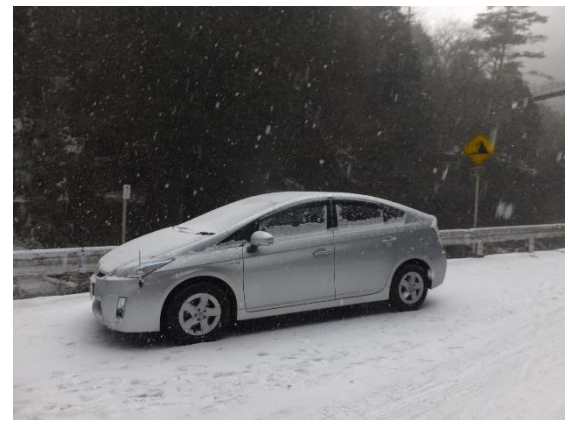
30. 途中にはこんなツララがあっちこちにあった



31. 車道に出てから、道路脇の氷の塊となったツララに何を思ったか、ピッケルで襲いかかる? 若者



32. そして、降りしきる雪の中をてくてくと歩く



33. やっと車まで無事下山 うっすらと車も雪に包まれていた お疲れ様でした